

一年を振り返つて



長野県公民館運営協議会

会長 滝澤澄夫

台風十九号により被災されました皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

台風十九号により被災されました皆様に心よりお見舞いを申し上げます。令和元年度長野県公民館運営協議会の事業は、おかげさまで無事終了することができました。

東御市で公民館長総会・研修会、下條村で公民館主事会研修会・総会、長野市で公民館報関係者研修会が、それぞれの開催地をはじめ関係する皆様のご尽力により盛大に開催できましたことに心より感謝し御礼を申し上げます。

佐久穂町では第六十七回長野県

長野県公民館運営協議会

第 142 号

発行所

長野県公民館運営協議会
長野市大字南長野字幅下 692-2
県庁東庁舎内
電話 (026)232-0111
(内線 4849)

『一年を振り返つて』

長野県公民館運営協議会

館長会幹事長 山田賢一

国の組織

再生により、社会教育課が廃止され、文部科学省から「社会

教育

教育」という文言が消えました。また、中央教育審議会答申では、持続可能な社会づくりを進めるため果たす社会教育の役割への期待をうたいながら、公民館等社会教育施設の首長部局への所管を特例として認めるというように、全国的な行政改革の流れの中で、公民館・社会教育を取り巻く状況はますます厳しさを増してきており

ます。各市町村では公民館の体制・位置づけも多様化が進むなど、社会教育機関としての公民館は、その存在的意義や役割を根本から問



い直されてきている昨今です。

県生涯学習推進センターの地域づくり推進研修で原義彦氏は「公民館をめぐる状況と対処方法」について、『危機』を“黒船来航”に例えました。◇『危機』を感じていないので?あるいは無視?【鎖国】↓ ◇『危機』を払いのけられるつもりか?【攘夷】↓ ◇『危機』に飲み込まれるか?

◇『植民地化』↓ ◇『危機』を受け止めて改善しようとしているか?【開国】と追い風や向かい風の中を公民館は変わっていかなければならぬと述べられた。

これまでの公民館が培ってきた地域との関係を大切に生かしながら、実態に応じた新しい「地域の拠点」としての公民館を模索していくことが望まれます。

これまでの公民館が培ってきた地域との関係を大切に生かしながら、実態に応じた新しい「地域の拠点」としての公民館を模索していくことが望まれます。

これまでの公民館が培ってきた地域との関係を大切に生かしながら、実態に応じた新しい「地域の拠点」としての公民館を模索していくことが望まれます。

課題が山積する中でありますが、「不易と流行」をモットーとして、明るく住みやすい地域づくり・人づくりのために力を注いでいたらと考える今日この頃です。

リレー
コラム

「長野県らしい
公民館とは?」
⑯

みんなで心をひとつに ～おんたけ湖ハーフマラソン大会～

王滄村公民館

主事
木下大輔

一十秒前、五秒前、三、二、一！
おんたけ湖ハーフマラソン大会
は毎年十月の最終日曜日に行われ、
九回目を数えます。



しかったし、村民の皆さんの声援が何よりもうれしかった」「噴火など災害があって大変だけど、王滝村がんばって！」とか「王滝、最高！」等々、嬉しいお言葉をたくさんいただきました。また、村の高齢者の方からは「おらの手を握って、ありがとう、がんばってね」と逆に言われたよ」との声も。





県教委から

令和元年度公民館活動アワード 発表します!!

昨年度から様々な場面で紹介し、推薦・応募のお願いをしてまいりました、第一回目となる「公民館活動アワード」。お陰様で、本年度の表彰活動が決定しましたので、ご紹介します。

なお、大変残念なことに、二月二十八日に開催予定であった「表彰式・フォーラム」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました（受賞団体へは、個々に表彰状と盾をお渡しします）。

「公民館アワード・フォーラム」は、来年度も継続します。地域づくりにつながる様々な優良事例が県内に広まり、お互いに学び合えることを期待し、公民館活動のよう一層の活性化を支援します。

令和元年度主要実施事業・参加事業		
研修会・大会等	期日	開催場所
公民館長総会・研修会	5／8（水）	東御市中央公民館
公民館主事研修会・総会	5／16（木） ～17（金）	下條村コスモホール
定例総会	5／23（木）	松本市松南地区公民館
公民館報関係者研修会	6／29（土）	長野市立柳原交流センター
生涯学習推進者研修 公民館ステップアップ講座	7／1（月）	上田市上野が丘公民館
第41回全国公民館研究集会 第59回関東甲信越静公民館研究大会栃木大会	8／22（木） ～23（金）	宇都宮市文化会館 宇都宮市中央生涯学習センター 宇都宮共和国大学
第67回長野県公民館大会	9／26（木） ～27（金）	佐久穂町生涯学習館「花の郷・茂来館」

「ここに生きる

ボランティア講師による日本語教室



中野市中央公民館

副主幹 青木一孫

当館が支援し

ている学習活動
の一つに、市内
在住の外国出身
者を対象とした

ボランティア講師による日本語教室があります。毎週火曜日の午前十時から正午まで、夜の部は、第二・四日曜日の午後七時から九時までです。

簡単な読み書きから日本語検定試験の合格まで、様々な生徒さんのニーズや目標に合わせてグループ分けし、授業を行っています。

また、ボランティアによる託児も実施しており、育児中のお母さんも気兼ねなく、わが子を預け授業に集中することができます。

ボランティア講師は、日本語の指導のみならず日本の文化や習慣なども教えており、授業後の茶話会では、受講生同士の横のつながりを楽しむなど、国際的なコミュニケーションが生まれています。さらに、年に一度、バスハイク

などの課外授業をボランティア講師らが自ら企画し、教室を離れ、気高い交流したりと幅広い活動を通じて親睦を深めています。

平成三十一年四月の入管法改正に伴い、当市においても外国人材の受け入れが拡大すると考えられる中で、ボランティア講師によるこのような主体的な取り組みは、外国出身者にとって非常に重要であり、また、他にはない有意義な拠り所となっています。

そもそもボランティア講師たちが長年にわたり、熱心に活動を続けている理由は何なのでしょうか。あるボランティア講師に尋ねたところ、過去に海外生活で、言葉の壁、文化や習慣の違いなどによる苦労を経験しており、自国を離れて暮らす人達の気持ちが想像できること。

海外で受けた恩が、いつしか自己でのライフワークにまで昇華させたのだと知り、感服しました。「地域に開かれた公民館を目指し、課題を求め・つどい・まなび合い・絆を結び・文化を創造する」という目標が当館にはあります。日本語教室の多様な学習活動は、まさにその目標を体現していると考えています。

様々な課題が山積する今日の社会情勢の中で、今後も日本語教室が順風満帆に進むとは限らないかもしれませんのが、教える側、教わる側、双方にとって有意義な活動が継続できるよう支援をつないでいきたいと思います。

冬?の自然観察会

伊那市西箕輪公民館

主事 中村和明

西箕輪公民館では毎年一月末か二月上旬に冬の自然観察会という行事を行っています。みはらしファームや仲仙寺周辺の山林道を片道一時間ほどかけて歩き、冬で

も頑張っている動物の姿や足跡や植物の様子を見ながら経ヶ岳植物園へ行きます。植物園では昼食をとること（豚汁の調理係は公民館主事）や講師の方に教わって火おこしの体験や理科の実験を行います。実験では雪と塩でアイスキャンディーを作ったり、ガスバーナーで温めた熱気球をとばしたりします。



今年は二月一日に開催しました。ずっとマイナス1度くらいの日が続いていましたが、この日だけはマイナス6度位の少し冬らしい朝でした。

今回は講師の方の意向で、地域の資源を使った環境保全についての取り組みについて、みはらしいちご園のペレットストーブを見ながらお話を聞き（イチゴのつまみ

食いがおいしかったです)、アカマツを使った経木についてのお話をお聞きしました。その後の山林道は雪が無くて歩きやすかったです。アイスキャンディー作りができず、陽が当たつて少し暖かくなるとまるで春の自然観察会のようでした。

アイスキャンディー作りの代わりに松かさや枯れ枝を使つたピンズづくりをしたり、クマザサをお皿にしたすし飯を食べたりしました。

ブロッキーース

小諸市公民館

館長補佐

土屋 和美

公民館役員研修会

第二回目は、松本大学白戸洋教授に「公民館と地域づくり」と題し講演いただきました。公民館を拠点に地域をどう育むかという話から始まり、地域の課題に敏感に向かい、実際に地域の中で、子どもを真ん中に置いて取組みをされてきた様子をお聞きしました。「学習とは一人一人の問題をみんなの問題にすること」「百人の一歩ではなく一人の百歩」など、具体的な取組み事例を紹介しながらのお話は、わかりやすくまた納得でき、自分たちが地域の活動をしていく際のエネルギーになりました。

写真は、その研修会のものですが、役員の皆さん興味を持って聞いていただきました。

第三回目は、事例発表会として各支館・各分館の活動について報

冬に限らず猛暑や強い台風が来るなど(西箕輪は風の影響による倒木が多いです)季節の進み具合や自然環境が変わってくる事が考えられます。そこで五年に一回は西箕輪各地区公民館上空からドローンを使って周りの風景を記録するなど後の人々に伝えていく活動を始めています。今後こうした活動がますます大切になってくるのではないかと思います。



告をしていただきました。今年度は、公民館活動モデル事業として取組みのあった四館も含めて全七館からの報告でした。活動内容もそれぞれ工夫をされていて、その地区の特色もありました。発表を聞いている役員さんもご自分の地区の活動と比べながら、参考になる点を見つけていらしたようです。日頃、ご自分の支館・分館活動を中心に行なっていますので、他の館の様子を知ることによって、活動を見直していただき、より充実した活動につなげていただければ有難いと思っています。

本館と支館・分館とが情報共有をして、また、連携をとりながらよりよい公民館活動を続けて行くようにしていきたいと思います。

令和元年 公運協だより編集委員会

ブロック	氏名	所属公民館
委員長	高野芳郎	長野市立鬼無里公民館係長
東信	小山美佳	軽井沢町中央公民館主任
中信	長谷川武敏	安曇野市中央公民館主任
南信	中村和明	伊那市西箕輪公民館主事
北信	笠井孝宏	千曲市稻荷山公民館主事

令和元年度 全国公民館連合会表彰受賞者（県関係）

優良職員表彰

菊地正子 前東御市祢津地区公民館長

功労者表彰

中山勇太 前長野県公民館運営協議会理事
(前主事会幹事長)

令和元年度第72回優良公民館 文部科学大臣表彰（県関係）

塩尻市広丘公民館

松本市第三地区公民館